

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018 年	8 月	19 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	小倉	久門	鈴木	仲谷	水間

調査対象先	旧萩原家住宅＝旧所在：桜井市下				
所在地	大和郡山市矢田町545、県立民俗博物館・大和民俗公園			電話番号	0743-53-3171
代表者 調査対応者	県立民俗博物館総務課の森川龍太郎係長				
対象文化財	彫刻	県指定：	件	国宝：	件
	建造物	県指定：	1 件 1 棟	国宝：	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	特にない。	
	要望	特にない。	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定は木造茅葺き平屋建ての主屋。要所に火災感知機を取り付け、消火器を配置している。屋外に消火栓格納庫を設置。萩原家のある国中集落と町家集落のブロックに1箇所のポンプ庫と地下防火水槽がある。	
	今後の予定	県立民俗博物館・大和民俗公園として郡山市消防と2年ごとに総合防火訓練を実施しており、今後も継続していく。	
	要望	旧萩原家住宅は江戸中期、多武峰に向かう街道沿の村落に建築された。現在地での復元は1977年。茅葺きの更新は約40年ということで、屋根の葺き替え工事を今年度秋頃から実施予定。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他()	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

旧萩原家住宅＝旧所在：桜井市下

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	屋根裏でアライグマの親子6匹が見つかった。なかなか震にかからず苦慮している。茅葺きに穴を開け侵入したようである。
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマの駆除では大和郡山市とも連携していきたい。スズメバチ対策は巣の駆除を地道にやっていきたい。

県指定・旧萩原家住宅の主屋正面(南側茅葺き)

主屋(北側は茅葺き底部分は本瓦葺き)の避雷針設備



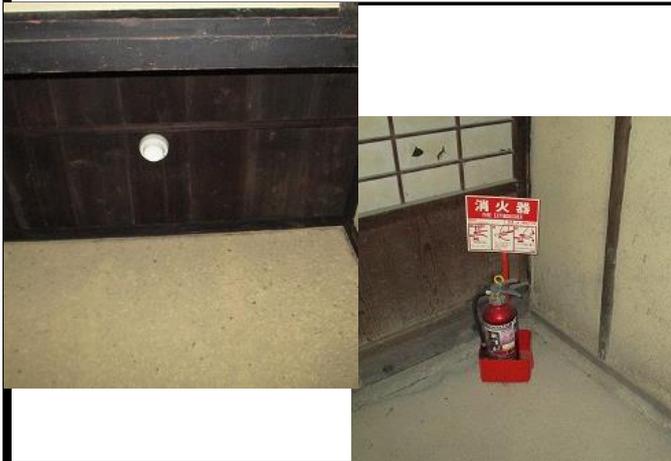
避雷針接地埋設プレート

主屋近くに設けられた消火栓格納庫



主屋の火災感知器(押入内)と消火器

【調査票記入者(仲谷裕巳)の感想】



民俗公園内の古民家が一斉に屋根の葺替時期が到来しているとの事で、まず旧萩原家の茅葺きが葺替えされるとのこと。要所に火災感知器を取り付け、消火器を配置。屋外には消火栓格納庫を設置。今後も県施設として万全の維持管理を続けてもらいたい。